CESA2019 命名規則 ・スクリプト 自分の担当のスクリプトは自分の名字の namespace をつける スクリプト名はアッパーキャメルケースでの記述 namepace Goto { } ・変数名 ローワーキャメルケースでの記述 文字の初めは小文字 文字をつなげる場合は先頭だけを大文字にする メンバー変数 \_をつける \_time ローカル変数 \_をつけない time public エリアと private エリアは分けて書く 変数ついてのコメントはその変数の横に書く public int \_time; // 制限時間 // プレイヤーのフラグ public int \_flag; private Vector3 \_playerPos; // プレイヤーの座標 private Vector3 \_playerVel; // プレイヤーの向き 定数 コンスタントケースでの記述 すべて大文字 文字をつなげる際は\_を使う PLAYER\_SPEED MAX SPEED enum PlayerFlag {  $HIT_TO_ENEMY = (1 << 0), // 敵 と の フ ラ グ$ HIT\_TO\_GROUND = (1 << 1), // 地面とのフラグ HIT\_TO\_OBJECT = (1 << 2), // オブジェクトとのフラグ

};

## • 関数名

```
アッパーキャメルケースでの記述
文字の初めは大文字
文字をつなげる場合は先頭だけを大文字にする
関数のコメントはスマートコメント編集の機能を利用する
引数と戻り値の説明も記述する
/// <summary>
/// 更新処理
/// </summary>
void FixedUpdate()
{
}
/// <summary>
/// 乱数の取得(int型)
/// </summary>
/// <param name="min">最小値</param>
/// <param name="max">最大値</param>
/// <returns>minからmaxの間の値</returns>
int GetRand(int min, int max)
{
               /// 習得した乱数を格納する
   int random;
   srand((unsigned) time(NULL));
  random = rand() \% (max - min + 1) + min;
  return random;
}
```

## ・フラグ

当たり判定などのフラグを使うとき bool 型は使用しない Git に上がっている Flug クラスを利用する